

地域で生産 地域で消費

地産地消を進めるための計画「周防大島地産地消推進プロジェクト」を展開するため、庁内プロジェクトチームの発足式が8月18日に大島庁舎で行われました。流通経路の確立を目指し、手作りで現実的な計画を策定することを目的に、庁内職員10名により構成されています。

地元で生産されたものを地元の病院や学校の給食に取り入れることなどから検討を始め、豊かで安心感のある健康的な生活の実現による活力あるまちづくりを進めます。

夏の終わりの海岸清掃

8月27日、大島オレンジライオンズクラブが片浜ヶ浜を清掃しました。プラスチックなどのゴミを集めたあとは、流れ着いた重油の固まりをひとつひとつ回収していました。



保育園児、夏の楽しみあれこれ

7月30日、ビー玉海岸で久賀保育園の園児と家族が海水浴を楽しみました。今年は高校生のボランティアも参加し、園児たちは浮き輪を引っ張ってもらったりすいか割りをしたりして大喜びでした。



8月27日から28日に和佐保育所でお泊まり保育がありました。外でのバーベキューや花火、きもだめしなど夜でなければできない体験とお泊まりで、園児もひとり回り成長したようです。



「橘」同士の交流を続けよう

佐賀県武雄市の橘小学校6年生の児童が、8月23日から3日間橘ウインドパークに宿泊し、カヌーや地引網を体験しました。「橘」の地名が縁で交流を始めて3年になります。地引網では、安下庄小学校の児童とともに網を引き、イワシやタコ、サヨリなどたくさんの魚をつかまえました。

